

感染症の流行・発生状況について
2025年第10週(3月3日～3月9日)診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	流行性角結膜炎
注意報	なし

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (八重山保健所管内) ・流行性角結膜炎 (那覇市、八重山保健所管内)	・水痘 (北部保健所)

● 2025年第10週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

《三類感染症》	《五類感染症》
・パラチフス 1件	・侵袭性肺炎球菌感染症 2件 ・梅毒 2件 ・百日咳 14件

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

①百日咳
本県から令和7年2月7日付けで百日咳が増加傾向にあるとのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1028521/1032871.html>
感染症発生動向調査による本県の医療機関から百日咳の届出が2025年第10週時点で累計194人となり、全数把握となった2018年以降では過去最多であった2024年の85人を大きく上回っており、増加傾向にあります。
南部保健所管内においても百日咳の報告数は2025年第10週時点で累計80人となり、本県と同様に過去最多であった2024年の44人を大きく上回り、増加傾向にあります。
百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに五種(四種)混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

②流行性角結膜炎
本県から令和7年3月14日付で流行性角結膜炎の流行状況について警報発令とのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/press/1028521/1033998.html>
感染症発生動向調査による本県の眼科定点医療機関からの流行性角結膜炎の報告数が、2025年第10週に定点当たり9.22人(定点医療機関9カ所、報告数83人)となり、流行性角結膜炎の警報発令基準値である8.0人を超えましたので、流行性角結膜炎警報を発令します。警報発令値を超えるのは2011年第30週依頼となります。
南部保健所管内においては、2025年第10週で眼科定点当たり4.33人(報告数13人)と、なっております。

③水痘
感染症発生動向調査による本県の医療機関から水痘の届出が2025年第10週で定点当たり0.56人(報告数18人)となり、水痘の終息基準値である1.0人を下回り、注意報解除となりました。
南部保健所管内における水痘の報告数は2025年第10週で定点当たり0.38人(報告数3人)となり、本県と同様に水痘の終息基準値である1.0人を下回り、注意報解除となりました。

④インフルエンザ
感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が、2025年第10週で定点当たり5.57人(定点医療機関56カ所、報告数312人)となり、終息基準値を下回っております。
南部保健所管内においては、2025年第10週で定点当たり7.64人(報告数107人)と、終息基準値の10人を下回り、注意報解除となりました。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことで、定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

疾病名	定点区分	沖縄県全体報告数					南部保健所管内報告数				
		7週	8週	9週	10週	10週	7週	8週	9週	10週	10週
		2/10	2/17	2/24	3/3	(定点あたり報告数)	2/10	2/17	2/24	3/3	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	647	485	426	312	(5.57)	193	148	149	107	(7.64)
咽頭結膜熱	小児科	7	3	5	7	(0.22)	3	0	4	2	(0.25)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	78	70	76	77	(2.41)	19	13	17	16	(2.00)
感染性胃腸炎	小児科	99	140	160	114	(3.56)	17	31	23	15	(1.88)
水痘	小児科	29	26	41	18	(0.56)	7	12	11	3	(0.38)
手足口病	小児科	2	1	6	6	(0.19)	1	0	3	4	(0.50)
伝染性紅斑	小児科	8	11	12	26	(0.81)	2	7	1	4	(0.50)
突発性発疹	小児科	8	4	7	11	(0.34)	4	0	0	6	(0.75)
ヘルパンギーナ	小児科	0	1	0	0	(0.00)	0	1	0	0	(0.00)
流行性耳下腺炎	小児科	2	0	2	2	(0.06)	0	0	0	1	(0.13)
急性出血性結膜炎	眼科	0	1	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	46	62	68	83	(9.22)	10	22	12	13	(4.33)
細菌性髄膜炎	基幹	0	1	0	0	(0.00)	0	1	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	2	1	0	(0.00)	0	1	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	2	1	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	5	5	10	8	(0.25)	3	1	3	1	(0.13)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	1	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	88	76	88	67	(1.20)	32	35	33	26	(1.86)
ヒメタニューモウイルス(NMPV)感染症							3	4	2	2	(0.22)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。